

掛川市教育委員会定例会議事録

| | | | |
|------|---------------------------------|-------------------------|--|
| 会議名 | 令和元年6月掛川市教育委員会定例会 | | |
| 場所 | 掛川市役所南館 教育委員会室 | | |
| 開催日時 | 令和元年6月25日(火) 午後1時30分から午後2時25分まで | | |
| 出席者 | 教育長 佐藤嘉晃 | 教育部長 榛葉貴昭 | |
| | 教育長職務代理者 戸塚忠治 | こども希望部長 山崎 浩 | |
| | 委員 永田孝明 | 教育政策課長 山梨 実 | |
| | 委員 橋山鈴代 | 学校教育課長 杉浦雅美 | |
| | 委員 岩尾千佳子 | 社会教育課長 戸塚和美 | |
| | | 図書館長 赤堀賢司 | |
| | | 教育部政策官 尾崎和宏 | |
| | | 教育政策課教育政策係長 水谷忠史 | |
| | | 教育政策課教育政策係指導主事 山本加代子 | |
| | | 教育政策課教育政策係指導主事 殿岡基弘 | |

1 報告事項

- (1) 令和元年度「掛川の教育<統計書>」の発行について (資料1)
- (2) 令和元年度「掛川教育ディスカッション」について (資料2)
- (3) 掛川市内小中学校のあらわれについて (資料3)
- (4) 部活動指導員について (資料4)
- (5) 令和元年度広島平和記念式典中学生派遣事業について (資料5)
- (6) 令和元年度静西教育事務所地域支援課指導訪問計画について (資料6)
- (7) 第4回「はばたけ未来の吉岡彌生賞」の実施について (資料7)
- (8) 令和元年度掛川市教育委員会・こども希望部園訪問日について (資料8)

1 開 会

教育長：教育委員会6月定例会を開会する。

2 教育委員会5月定例会議事録の承認について

意見のあった箇所を訂正することとし、承認された。

3 事務報告及び行事予定報告

教育部長から事務報告及び行事予定について、主な事項の説明があった。

4 報告事項

- (1) 令和元年度「掛川の教育<統計書>」の発行について
教育政策課長から報告資料1のとおり報告があった。
- (2) 令和元年度「掛川教育ディスカッション」について
教育政策課長から報告資料2のとおり報告があった。
- (3) 掛川市内小中学校のあらわれについて
学校教育課長から報告資料3のとおり報告があった。
また、当日配布(終了後回収)した資料「継続支援の必要な事案について」に基づき説明が

あった。

委員：この件は、アンテナを立てて、よほどの知見で見ないと、いじめと最初に捉えるのは難しかったと思う。学校の対応の難しさ。いじめ問題で先月ゼロとあって、気をつけなければいけないというのがあったが、ここをこれだけやっても、そういうことが出てきているということは、いじめと言うよりも、そういう問題が起こっているということで上げてきてくれないと、いじめと言う言葉でいくと、いじめではないとなる。そういう諸問題、学校ではいじめと言い切れないが、学校がどうしたらいいかわからないということで、教育委員会に入りやすいような窓口を作る。いじめだから、いじめではないからというところではない方が言いやすいと思う。いじめとして捉えられてしまうとカウントされてしまう。これがいじめなのか、いじめではないのかというのを、学校ではない第三者に見てもらって、協力を仰ぐ方が、話がしやすいのではないか。

教育政策課指導主事：月例報告では、問題行動という報告もあって、そこには子ども同士のけんかであるとか、手を出したというようなものも載せてくださいとお願いしている。その中で少し引っかかるようなことについては、学校に聞き取りをして、被害を受けた子が嫌な思いをしているとなると、今の法でいくといじめになるので、そういう目できちんと学校の方も見てくださいますようお願いはしている。

委員：この子は発達障害の可能性ということで、発達障害ということでもないのか。

学校教育課長：診断は出ていない。

委員：母親の不安定さというのは、不登校からくる不安定さなのか。

教育政策課指導主事：こひつじ診療所を受診する時に、本人は来られなかった。ただ、話を聞く中で自閉のような傾向があるのではないかという話で、小笠病院も受診された。お母さんはこひつじの時に、お母さんの方にもカルテを作って出そうかということで、お母さんの不安定さのことについては、ドクターも感じていたのではないかと思う。

委員：「発達障害の可能性とか不安定さというのを、学校・保護者の両者が捉えて」とあるが、この保護者というのは、父親ということか。

学校教育課長：最初はお母さんだけが前面に出てきて、今はお父さんがかなり学校へ連れてきてくれるようになって、だいぶ良くなった。お父さんも自分の子どもが変わった所があるのは認識していると思う。

委員：冷静に判断できる人が、子どもに対応しないといけないと思う。お父さんが子どものそういう状況であったり、お母さんが少し不安定だということを自覚しながら、対応することが大事だと思う。

委員：家の中で暴れるというのは見えない。面接をして話をして行って、初めて聞き取りができるような話。

委員：6月はもうこの子は学校へ来ているのか。

教育長：全部ではないが、朝から途中まで。

委員：改善の方向に向かっているか。

教育長：向かっている。父親が動き出しているなので、これで大きく変わってくる可能性は高い。
あと、子どもの気持ちの中で、いじめを理由にしていることも考えられるので、そこをこれから学校と協議対応していくところ。来月の定例会でまた様子を報告させていただく。

(4) 部活動指導員について

学校教育課長から報告資料4のとおり報告があった。

委員：これは、学校が希望するのか。

教育長：学校が希望する。

学校教育課長：なかなか平日もやってくれる人が見つからない所が多い。

(5) 令和元年度広島平和記念式典中学生派遣事業について

学校教育課長から報告資料5のとおり報告があった。

(6) 令和元年度静西教育事務所地域支援課指導訪問計画について

学校教育課長から報告資料6のとおり報告があった。

(7) 第4回「はばたけ未来の吉岡彌生賞」の実施について

社会教育課長から報告資料7のとおり報告があった。

(8) 令和元年度掛川市教育委員会・こども希望部園訪問日について

こども希望部長から報告資料8のとおり報告があった。

5 その他

(1) 掛川市小学校陸上競技大会の委託終了について

学校教育課長から当日配布された資料のとおり報告があった。

委員：理由の「児童数の増加により」というのは、保護者が見た時にどういうふうを感じるか。

委員：児童数は減っていつている。おかしい。

学校教育課長：全員今までは出していたが、それをやっていくとなかなか難しいということ。
種目を削減する理由として上げている。

委員：競技参加の児童数が増えているということか。

学校教育課長：そういうこと。

委員：この競技会に出る人数が増えているということなのか。

学校教育課長：増えている。

委員：その辺の説明をしないといけないのでは。

教育長：誤解を招くといけないので、文章を変えていく。

学校教育課長：確認する。

委員：この通知は、児童を通して保護者に渡すのか。

学校教育課長：そうなると思う。

委員：子どもにも説明が必要。

委員：変に言葉が独り歩きしてしまう。この通知を見て判断しないとイケない。学校によっての説明判断で温度差が変わってしまう。

教育長：言い方によって受け止めが違ってきてしまう。それは十分に気をつけるように明日の校長会で話をするし、校長会長にもお願いをしておく。

委員：事前にPTA会長とかPTAの役員には、こういう文章を出すけど、こういう理由だからということを書いておいた方がいいかと思う。いきなり児童を通して親へ渡すと、うちの子からなくなってしまうのかという意見が大きくなってしまう。

委員：子どもたちにも言わないとイケない。楽しみにしている子がいる。

学校教育課長：6年生の種目数を減らして、そろそろ選手決めをしないとイケないので、この時期に言っておかないと遅くなってしまう。

(2) 次回以降教育委員会定例会の日程について

ア 教育委員会7月定例会
令和元年7月25日(火) 午後1時30分
掛川市役所南館 教育委員会室

イ 教育委員会8月定例会
令和元年8月23日(金) 午後1時30分
掛川市役所南館 教育委員会室

(3) その他の予定について

ア 静岡県青少年の非行・被害防止強調月間街頭キャンペーン
令和元年7月1日(月)
戸塚委員 イオンタウン大須賀 午後5時15分
永田委員、橋山委員 リベロ大東店 午後5時15分
岩尾委員 アピタ掛川店 午後5時30分

イ 第1回総合教育会議
令和元年7月25日(木) 午前10時30分
掛川市役所5階 庁議室

ウ かけがわ教育ディスカッション
令和元年8月1日(木) 午前9時
掛川市役所南館 会議室
テーマ：「学校の働き方改革について」

6 閉 会

教育長：教育委員会 6 月定例会を閉会する。